

(参考様式4)

事業所名 スイート帝塚山

目標達成計画

作成日: 令和 7年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	17	計画作成担当者が利用者様のバックグラウンドを含めてアセスメントを行っているが、利用者様個々の得意なことや生きがい・楽しみ等に関する目標設定や介護計画が不十分である。	・利用者様個々の得意なことや生きがい・楽しみ等を職員が把握し、介護計画に日々の援助の中で取り組むことができる。	・利用者様や家族様、関係者の方から可能な限りの情報収集を行い、その上で可能なことや将来的に可能となることがあるか全体会議やユニット会議にて話し合う。 ・利用者様個々の現状に即した実現的な目標を設定し、介護計画を立案・実施する。	12ヶ月
2	18	介護記録ソフトを利用しているが、まだ十分に機能を使いこなせていなかったり、職員間での情報共有が図れていないことがある。	・介護記録ソフトの機能を十分に活かし、職員ができるだけ短時間で正確な情報収集ができ、利用者様に適切な援助が行える。	・介護記録ソフトの操作方法は、全職員が必要な項目をe-Learningで学習する。 ・生産性向上委員会で介護ソフトの機能を活用した効率的な情報共有について話し合う。又、実際に使用していて不便だと思っていることがあれば、介護記録ソフトの会社に問い合わせる。	12ヶ月
3	28	手作りの食事提供にこだわり、利用者様や家族様からもご好評いただいているが、利用者様と献立を考えたり一緒に調理する機会を増やしたい。	・利用者様の故郷や思い出の味を献立に取り入れ、毎月の特別食・企画食以外にも食事を楽しみにしていただくことができる。	・利用者様に懐かしい料理や思い出の味、もう一度食べてみたい菓子等についてアンケートを実施し、給食委員会のメンバーが主となって利用者様と献立を作る。 ・調理の際には得意な利用者様に参加していただき、事故無く楽しめるよう安全面に配慮して一緒に行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。